新潟市立赤塚中学校　地域と学校パートナーシップ事業

ハクチョウ通信

2023 年度　第 3 号
10 月 6 日

地域教育コーディネーター
星・中野

「地域防災」をテーマに地域講座を開催

９月１６日（土）に地域講座が行われました。今年度は『**地域防災**』をテーマに新潟市の防災士の方々からお話を伺いました。

最初に髙島さんから、地震の話を中心に地域に関する災害、防災について話をしていただきました。次に中野さんから、防災士として伝えておきたいこととして、普段から何かあったらすぐ動けるようにしておくことや被害を最小限にする対策をしておくことの大切さについての話がありました。続いて小熊さんから、地域の皆さんと一緒にあいさつを広げていくことが「**自助**」「**共助**」をつくる原点となるという話がありました。最後に新潟市防災士の会会長の平井さんから、非常用持出袋を見せていただきながら、災害全体に対する総合的な話をしていただきました。

限られた時間でしたが、４人の防災士さんからそれぞれ違う方面から具体的な話をしていただき、参加した方々からとても有意義であったと感想をいただきました。

佐潟クリーンアップ活動「潟普請」に集合　～佐潟の自然を取り戻すために～

９月２４日（日）に、第３２回佐潟クリーンアップ活動「潟普請」がありました。休日にもかかわらず、赤塚中学校生徒職員、新潟大学の学生、日本道路（株）北信越支店、コミュニティ協議会、佐潟と歩む赤塚の会、地元公民館、佐潟水鳥湿地センター、地域からの一般参加者ら、総勢約８０名のボランティアが集まりました。さわやかな秋晴れの下、参加者はヨシの運び出しと泥上げの二つの班に分かれて約２時間、汗を流しました。

佐潟は水質の悪化とそれに伴うアオコの発生、下潟のハスの消滅という課題を抱えています。それらの改善策として 2005 年から潟普請が行われてきました。私たちの地道な活動が少しでも佐潟の自然を取り戻す一助となることを願っています。

ヨシ班

作業を終えて全員で

泥上げ班

赤塚中佐潟クリーン活動を実施　～来春も花を咲かせるために～

９月２９日（金）に赤塚中学校の佐潟クリーン活動がありました。秋は佐潟公園前の花壇にチューリップの球根を植える活動です。中学生の活動に先立って、今年も地元老人会の皆さんが、早朝５時半から２日間かけて草取りと耕運をしてくださいました。その花壇に、球根を等間隔に整然と並べて植えられるように、中学生たちは３０㎝間隔で印をつけた竹棒やテープを使ってクラスごとに協力して作業していました。

来年の春も、色とりどりのチューリップの花がきれいに並んで咲くことでしょう。楽しみですね。

早朝の清々しい空気の中、草取り作業が進む。

この日はあいにく雨。
雨の中の耕運作業となりました。

6色合わせて2400個の球根が用意され、各クラス400個ずつ球根を植えました。

30cm間隔で印をつけて穴をあけていきます！